

認定NPO法人ぱれっと 2025年度 事業報告書

1 はじめに

法人の設立から20年目を迎え、昨年度は20周年記念パーティーを開催するなど節目の年となりました。課題は山積みであり、順風満帆とはいえないも、大きな問題をおこさずに取り組めたことは評価できます。一方で人員不足の問題をはじめ、将来に向けての不安は払拭できずに来ています。

次年度は、事業所（全事業）の移転をはじめ大きな変化が生じます。特に利用者に混乱を与えぬように十分な準備を行い、早期に新規体制が定着するように取り組んでいくことが必要になります。

1) 重点目標

人材確保及び継続に向けた取り組みの実施。最低賃金の向上及び、物価高に対応する給与体系への見直しに関しては、若干だが、改善を図った。非常勤の時給を処遇改善費込みで1,300円～など実施した。

グループホームの運営の安定化及び、次のグループホーム（男性用）に向けた人材確保を含めた準備はすすんでいない。女性用ホーム（おれんじ）の人材確保、今後新規の男性用のホームで軸になる職員の確保は急務になる。

ヘルパーステーションコラージュの再生の目標も改善できていない。移転の話などから課題が増えてきているように思われる。一方で研修などはしっかりと取り組むことができている。

広報PR部門の設立と広報活動の活発化は図れていない。2026年度は委員会化を予定している。

法人各事業運営の確認と見直し（第三者評価委員による評価の実施）については、移転などの話もあり、次年度に回すことになった。

2) 採用の拡大

昨年度に、「継続人材の確保と定着を図ります。短時間正社員雇用の拡大などをより進展させます。」と目標を設定した。短時間正社員を含めた就業規則に変更し、子育てや介護に対応できる規則にした。また、勤務のあり方を月単位の変形労働時間制を役立てる形で、希望する勤務に合わせる、またそのような働き方を受け入れる社風の構築にもつながってきたと思われる。

しかしながら、数名の退職者が出るなど人材を失う状況も生まれている。「働き続けたい職場とは？」というテーマに真摯に取り組むことが必要であると改めて実感する。

3) 次世代育成を継続

継続し育成を図ります。ベテランで次世代の柱となるべき職員の退職があった。次世代育成は、当法人においては、大きな課題であると改めて実感している。一部の職員に大き

な負担がいき、全体的な底上げができていないことも理由と考える。全事業の職員が調和し学び底上げする形を次年度は立案し実施していきたい。

2 特定非営利活動に係る事業の報告

1) ヘルパーステーションコラージュ

※定款(1) 4、8、9、10、11、15、16

コラージュは令和7年4月事業縮小という形を取り、登録ヘルパーの人数も減少した形で令和7年度を発進しました。最初は、今まで通りの内容を継続することは厳しいと考えていましたが、職員がしたい事の意見交換をする中で、少しずつコラージュに色が見えてきたような気がします。行事を増やしてしまうと、企画や準備等の時間が大変で、勤務時間のほとんどを現場に出してしまっているのも、とても厳しいものになりますが、普通業務の中で、出来る事と考えていくと、やれることも広がります。10月には8名の利用者さんでしあわせの村でBBQをしました。普段なかなか一緒に活動しない方と一緒に活動で、なかなかまとまりはつきませんでしたが、思い出にはなったと思います。行事としては6月に毎年恒例になってきたクリーンウォークをしました。ごみ拾いの後にみんなでたこパをして楽しめました。12月のクリスマス会は今回はカラオケBOXのパーティーールームを借りてしてみました。どれだけ音を出しても大丈夫という安心感と、フリードリンクにソフトクリーム付きということもあり、それぞれのペースで動きながら開催できたこともよかったのではないかと思います。

しあわせの村でバーベキュー大会



クリーンウォーク&たこ焼きパーティー



恒例クリスマス会



研修では、今年も恒例となっている近澤先生に登壇をお願いしての精神障害の理解の勉強会を開催することが出来ました。

目標に対しての評価

ヘルパーの増員は現在のコラージュの組織力を考えて、難しいと思われましたが、移動支援に関わってくださる方が増えています。新規サービスの依頼をお断りすることも多かったのですが、引きこもりの方を社会参加に繋げる事や他の事業所で対応が難しかったケースなどを引き受けたケースはありました。

ヘルパー研修 第1回 令和7年9月21日 精神障害の理解(近澤先生)

第2回 令和8年1月25日 虐待研修

毎月研修 4月 接遇マナー、サービス記録について

5月 感染症(皮膚感染)について

6月 意思決定支援について

7月 ハラスメント、カスタマーについて

8月 個人情報、プライバシー保護について

9月 精神障害の理解

10月 介護技術(自立支援の視点)について

11月 BCP 業務継続計画について

12月 倫理と法令順守について

R8.1 月 虐待防止、身体拘束について

2月 権利擁護について

3月 知的障害の理解(現場での対応、連携、家族支援)

コラージュ利用人数(重複利用者・契約者含む)

居宅介護	20名	重度訪問介護	1名	同行援護	2名	行動援護	32名
訪問介護	2名	介護予防	2名	神戸市移動支援	49名	明石市移動支援	9名
淡路市移動支援	1名	たすけあいサービス	14名			合計	132名

2)多機能型事業 地域支援事業所ぱれっと(就労継続B型事業 生活介護事業)

※定款(1)4

報告

書類等の整備については、サービス管理責任者を中心に整えることが出来てきたので、このまま整った状態を維持して行けるように全体で取り組んでいく。

職員担当制は、明確に確立したものには至っていないが、今年度に書類等の整備が整ってきたので、次年度はそれとも絡めて確立していきたい。

就労プロジェクトは、竹関連の新製品のアイデア出しや取り組みが全体で共有して出来てきたので、引き続き盛り上がっていきたい。

目標への成果・評価

利用者の増員を目標に挙げていて、まるごと福祉フェア(135E ネット)、事業所紹介フェア(KWN)の参加や、見学、体験の受け入れをしてきたが新規の利用には至っていない。

就労プロジェクトは、作業の受注は昨年度と比べて増えてはいないが、新たな竹製品への取り組みが始められたり、「こうべ森と木のプラットフォーム」への参画やぱれっとの竹製品に「KOBE WOOD」のロゴマーク使用の認証が得られたりと広がりは出来た。

【イベント】

4月・・・花見(石ヶ谷公園)

8月・・・流しそうめん、餃子皮ピザ(ぱれっとデイフロア)

12月・・・忘年会(ごちそう村)

1月・・・日帰り旅行(徳島)

初詣(平野八幡)

就労&生活介護 家族会(年2回)

9月4日(木)13:30~15:00

3月5日(木)13:30~15:00

【作業関係】

屋内作業はゴムのバリ取りを中心に行ってきた。昨年度はミスが続き、それを無くすことに重点を置いて取り組み、出来高が減少した。今年度は、ミスを出さないように取り組みながらも、出来高を回復させることが出来た。玉津ラボ(紙リサイクル)、たまろっとマルシェ(販売)は、参加できる利用者を増やすことは出来てきたが、引率のスタッフは思うようには増やせていない。

屋外作業では、個人宅除草、事業所の新規を受けることが出来た。竹林整備は、神戸市(地域協働局、都市局)からの受託は昨年度までの担当者の異動等で件数は減った。しかし、年度末に環境局と次年度に繋がる話をする事が出来た。

自主生産品では、竹を使った新製品に取り組み始め、現在進めている。

多機能利用者数 就労継続支援B型事業 17名 生活介護 5名(令和6年3月31日現在)

3) デイサービス(地域密着型通所介護 介護予防通所介護 共生型生活介護)

※定款(1)4、10、11、12、13

報告

2025年は「利用者さんの利用日増減と6名の退所」「新規利用者さんの獲得」などがありました。ぱれっと開所当時の古参利用者含め6名退所の影響、「利用者の入退院の繰り返し」「長期入院」なども、言い訳に

しかしながら赤字軽減を目指す中で足を引っ張る要因になりました。土曜日も3名ほどの利用者と過ごすなど寂しさがあり、来年度の土曜日開所の進退を問われてもおかしくない状況です。その中でも新規利用者さんが週複数利用の方、利用日が増えた方がいたことは明るい材料です。

本年度もレクリエーション活動が進化しており、参加人数も増えています。特に創作活動やゲーム類はスタッフの尽力もあり、利用者さんの笑顔を生み出せました。特にゲーム類の勢いがすさまじく、ただ遊ぶだけではない脳トレ(ドンジャラ・ひらがな麻雀・英単語カードなど)にもなる物もありました。

目標への成果・評価

《2025 年度目標》

① 土曜日開所の定着化

⇒定着はしたが利用者3名の利用が多く寂しいものとなっています。来年度実施するかは要検討事項。

② 各曜日定員以上の登録者にする

⇒多くても9名程となり、全曜日定員10名に達成していない

③ 共生型児童デイサービスの検討

⇒検討できていない

④ 外出の機会を増やす イベントの増加

⇒運動を目的とした活動、おやつを買いに行く活動、気分転換の活動が増えました。室内で行うミニゲームやおやつの日なども増えました。

【イベント】

・4月…花見 ・8月…納涼祭 ・10月…日帰り外出・ハロウィーン週間

・12月…アートシップ明石見学&クリスマス会&忘年会 ・1月…書き初め ・2月…節分とバレンタイン

※季節に合わせたレクやゲーム、気分転換や歩行等の訓練、誕生日のお祝い、おやつの日などを行いました。



【活動内容】

- ① 身体機能の維持、健康面に留意した活動
(ストレッチ ラジオ体操 口腔体操 機能訓練(あんまマッサージ)歩行訓練など)
- ② 脳を活性化する活動
(英単語カード・ひらがな麻雀・ドンジャラ・音楽と動画鑑賞・計算・漢字プリント・その他テーブルゲーム・塗り絵・指の体操・ナンプレ・漢字クロスワードなど)
- ③ 新しく体を使うゲーム(ストレッチ時などに)やスポーツ(ジョギング・筋トレ)を取り入れた
- ④ イベントの企画(その季節に応じたミニ外出・ゲームなどを作成)
- ⑤ ボランティアさんを含めた活動
- ⑥ 誕生日月のお祝い
- ⑦ 創作活動(ARTSHIP明石に参加)
- ⑧ アルミ缶つぶし(軽作業)

デイサービス利用者 計 16 名

・地域密着型(要介護)6名 ・介護予防通所介護(要支援)0名 ・共生型生活介護 10名

4) 相談支援事業

特定相談支援 一般相談支援 障害児相談支援

※定款(1)6、7

報告

令和 7 年度においては、年間テーマ 3 名体制による相談支援の充実及び書式等の整理とした。常勤 4 名から常勤 2 名、非常勤(8 割出勤)1 名の体制になり、引継ぎなどで多少混乱もあったが、他の事業所への移管などもでき、大きな混乱なく対応ができた。とはいえ、丁寧な相談支援を信条として取り組んでいたこともあり、業務過剰な状態であることは継続し、新規の受け入れを積極的には行うことはできなかった。人材確保からも新規に相談支援専門員を確保することができなかったことも反省点。

地域移行支援についても目標とした 3 名の確保ができず 2 名のみだが、精神科の病院を退院して地域で生活を始めたことには貢献できた。ピアサポーターとの活動は昨年よりも増えたことも評価できる。

《2025 年度目標》

- ・1 名減の体制での現利用者の満足度のある支援の継続

4 月から人員減により利用者を他事業所に移管させていただいた。他の事業所に移動していただいた方には迷惑をおかけしたが、移管も丁寧に行うことで大きな混乱をもたらさず。

- ・協働型事業所の継続

協働型は継続ができている。協働型を行うことで機能強化型 1 の一番高額な報酬算定を行うことができている。

※TS ネット W 協定を結んだ事業所 こぐまくらぶ とともに のぞみ

TS ネットWでつながった事業所(TS ねっと C) すずらん相談支援事業所 レキップ相談支援事業所 誕生日ありがとう ウィズ 計8カ所 (継続)

協働型での連携、関係性などは、会議等を繰り返すごとに強化されていることも実感する。

・新規相談支援専門員の採用と教育

新規に相談支援専門員を採用することはできなかった。

・地域移行支援においては、3 名以上の地域移行成功者を出す

2025 年度においては、2 名の地域移行成功者をだすことができたが、目標の 3 名までは届かず。

ただ退院意欲喚起からスタートした人を含め 2 名の方が 3 月より地域移行を始めている。

《経営目標》

10 月頃には 1 月あたりにつき 60 名越えの実績が出せるようにする。(月平均 150 万円)

実績として 50 名以上 平均 130 万円程度で収まっている。多い時で 150 万円

新規の相談支援専門員(次年度相談支援専門員資格研修を受講できる者)を獲得できなかったことも影響している。

目標への成果・評価

相談員が減ったことにより、収入は減少した。しかし高次機能障害の研修の受講により加算が増え、より高い報酬を得ることができるようになった。

協働型の継続により、報酬面だけでなく、TS ネット W での月 2 回の定期的な会議及びケースカンファレンスの実施、月に 1 回の全体会議(事例検討含む)を概ね実施することが出来ており、相談支援専門員の資質向上に役立っている。

地域移行・定着支援の評価者としても参加するなど行うこともできており評価につながる。

【活動内容】

特定相談支援、障害児相談支援におけるサービス等利用計画の作成、モニタリング報告書の作成、それに係る基本相談、事業所や病院への同行、関係機関との調整なども行う。

地域移行支援については、精神科病院からの退院後の生活のコーディネート等を実施。今年度実施の 3 名については、特性相談支援及び地域移行支援を並行して実施している。

特定相談支援 175 名 障害児相談支援 5 名 一般相談支援 2 名 (3 月)

5)グループホーム(共同生活援助)

※定款(1)4

報告

○ほわいと

今年度、新しく世話人さんを 1 名採用し、月曜日～日曜日(日曜日一泊帰省)まで開ける事が出来るよう

になった。宿泊が多くなったが不満や混乱なく移行することが出来ている。

概ね生活は安定し、それぞれのペースで生活することが出来ている。ただ、今年度は利用者間のトラブルの際に怪我をさせてしまったり、食器洗いの際に手を切ってしまったり等で通院の対応が必要になった。また、だんだんと利用者さんも年齢を重ね、糖尿病や高血圧といった成人病への配慮が必要な方も増えてきている。

余暇活動では、万博へ日帰り旅行を実施。暑さなどから開催日程の後半で行ったため、人が多く思っていた程パビリオンは回れなかったが、皆さん楽しめた。

〇おれんじ

今年度、新卒者を1名採用。就労と兼務する形で利用者の方の特性など勉強してもらっている。利用者の方は開所から1年が経ち、それぞれの生活が落ち着いてきている。

1名日中の活動場所が変わったが、事業所さんの配慮で大きな混乱はなかった。また、現在日中活動の場で集中支援を受けており、おれんじスタッフも一緒に参加させて頂き、ご本人の生活がより快適になるよう協力して取り組んでいる。

余暇活動では外食に出かけた。皆さん、出発前からとても楽しみにされており、今後も継続していきたいと思う。

ほわいと、おれんじ共に区分4から5へ変更になった方が1名ずつあり。人員配置はクリアー出来ている（ギリギリだが…）。どちらの方も神戸市なので重度者受入体制加算の対象でもあり増収になる。どちらのグループホームも人員に余裕がなく、もう少し余裕を作っていく必要がある。また、高年齢のスタッフが多く若いスタッフも今後必要。

ほわいと、おれんじそれぞれで地域連携推進会議を実施。利用者家族、民生委員、自治会長、近隣の事業所(リバティ)の方々に参加して頂いた。

目標への成果・評価

《2025年度の目標》

① おれんじでの生活を定着させ、月曜日から土曜日まで宿泊を行う

4名の方が月曜日～土曜日までおれんじで宿泊している。

1名の方は月・水・金の宿泊だが、昨年に比べると1泊増やすことが出来ている。

ご本人のペースを大切にしつつ、ステップアップ出来るように促していく。

目標としては達成。

② 個別支援計画作成会議で支援を協議、職員共通認識にして支援に取り組む

会議を通して支援について話合うことが出来た。新しい職員が増えたので、支援について以前より多く時間を割くよう意識して取り組んだ。

③ 余暇活動の充実(土曜日の過ごし方)

世話人と一緒に調理やお菓子作り等実施。昨年も取り組んでおり、広がりはない。

みんなの希望など聞きながら外にも出ていきたい。

④ 障害や疾病について理解を深める

集中支援対象者のアセスメントを通して、障害の特性・声掛け・伝え方などを考えていきたい。
(今後実施する)

⑤ 人材の確保、育成

どちらのグループホームも1名ずつ増やす事が出来た。ただ、利用者の区分が上がりギリギリな状況。
緊急時への対応が難しいので人材の確保は急務。また、若い人材も必要。
支援者の支援力、観察力、障害の理解など育成が課題。

【イベント】

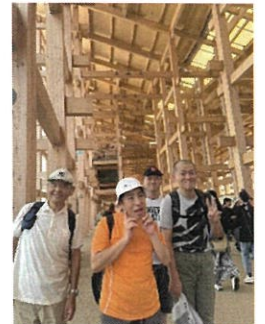
日帰り or 一泊旅行
季節の行事
地域連携推進会議
家族会



【活動内容】

生活支援・余暇支援

ほわいと:利用者(男性)4名 おれんじ:利用者(女性)5名



6) 兵庫県指定従業者養成研修

※定款(1)1、2、3、20

行動援護従業者養成研修

7月19日 20日 27日 8月3日の4日間でサポートセンター翔にて開催した。

今年度も(社福)明桜会の支援を受けての共同での開催となった。

今年度は30名の方が修了されている。(ぱれっとからは5名が受講)

今回も講師陣は、あかりの家、真砂園など、強度行動障害の相談や支援に日常から取り組まれている方々にお願いし、内容の濃い研修になっています。

今年度、同行援護従業者養成研修及び移動支援従業者養成研修は実施していない。

7) グループホーム設立・運営委員会

※定款(1)1、3、6

第1回グループホーム設立・運営委員会

令和7年6月1日(日) 10:00~11:40

デイサービスフロア&オンライン(Zoom)にて開催

家族等 15名(内オンライン1名) 職員3名 ドライブ対応有

議事内容 今年度の活動について グループホームの見学について
ぱれっとの状況や報告について
その他意見交換等

第2回グループホーム設立・運営委員会

令和7年10月5日(日) 10:00~11:40

デイサービスフロア&オンライン(Zoom)にて開催

家族等 9名(内オンライン2名) 職員3名 利用者ドライブ対応あり

議事内容 ぱれっとグループホームの近況報告 グループホームの見学案内
グループホームの消防設備 建築基準などについて
その他意見交換等

第3回グループホーム設立・運営委員会

令和8年2月1日(日) 10:00~11:40

デイサービスフロア&オンライン(Zoom)にて開催

家族等 16名(内オンライン2名) 職員3名 ドライブ対応有

議事内容 グループホームの見学報告 2か所(写真を見ながら)
今年度の活動の振り返り 次年度の活動について 意見交換等

第1回グループホーム見学

社会福祉法人明桜会 グループホーム咲楽

令和7年11月4日(火) 10:30~12:00

家族等 6名

職員 9名

説明案内 明桜会 グループホーム統括 吉田様



強度行動障害の方を対象としたグループホームで、建築段階からあらゆる工夫がなされて

いた。現在は一つ目で隣に二つ目の建設が行われていて、3 か所目の女性用までの予定があるとのことでした。

第2回グループホーム見学

(社福) 祉栄会 リノ加古川

令和7年11月14日(金) 13:30~14:30

家族等 3名 職員 3名

説明案内 管理者 清水様



身体障害者施設のサテライトとして用意されたホームを強度行動障害者の入居ができるように転換されたホームでした。そのため、バリアフリー化されており高齢になっても対応できるとされていました。

8)その他の事業の実施

※定款(1)1 地域福祉に関する調査・研修・発表事業

(1)2 地域福祉の啓蒙・啓発活動事業

定款(1)の1・2に該当する活動を法人主催として実施が出来ていないが、就労プロジェクトなどを行うにあたり啓蒙・啓発の活動にはつながっている。また、枝吉自治会や枝吉小学校区ふれあいまちづくり協議会への参加や、KOB WEST NET や 135E ネットの活動を通して地域福祉に関する調査・研修・発表事業に値する事業が実施することができている。

9)未実施の事業

※定款(1)14、17、18、19

上記定款の事業においては、令和6年度は機会が持てず実施できなかった。必要性が出た場合はただちに実施していく。

3 事業実施体制

(1) 会議に関すること

① 総会 令和7年6月15日(日)13:00～14:30

正会員数総数 33名 出席者数 22人(内委任状出席 16人)

令和6年度事業報告 令和7年度事業計画

② 理事会

○第1回 令和7年5月29日(木)18:30～20:00

出席者 10名 内オンライン参加 6名

議事 令和7年度事業報告 令和7年度事業計画案他 総会に向けて

○第2回 令和7年9月12日(金)18:30～20:00

出席者 9名 内オンライン参加 2名

議事 事業経過報告 今年度の予定 意見交換 他

○第3回 令和7年12月12日(金)18:30～20:00

出席 9名 内オンライン参加 2名 委任状 1名

議事 事業経過報告 短時間正社員制度 マイカー使用規定 他

○第4回 令和8年3月13日(金)18:30～20:00

出席者 9名 内オンライン参加 3名

議事 令和7年度事業報告 令和8年度事業計画等

③ 職員全体会議

常勤職員(正規職員 契約職員)出席

第1回 令和7年5月24日(土) 9:00～10:00 事務連絡について

※救急救命士講習を受講 安全運転研修 BCP 研修も実施

第2回 令和7年11月11日(土) 9:00～10:00 事務連絡について

※事例検討の研修 コミュニケーション研修を実施

第3回 令和8年3月14日(土)13:00～14:00 事務連絡について

※人権擁護・虐待防止研修も実施

④ 運営委員会 + 虐待防止・権利擁護委員会 + 身体拘束適性化委員会

所長 事業長 センター長 事務長 課長等役職者 出席 理事にも出席可能日は参加頂く。

4月24日(木)13:30～15:40 6名 5月22日(木)13:30～15:30 7名

6月24日(火)13:30～15:45 6名 7月22日(火)13:30～15:30 7名

8月28日(火)13:30～15:30 7名 9月25日(木)13:30～15:40 6名

10月23日(木)13:30～15:30 5名 11月27日(木)13:30～16:00 5名

12月25日(木)13:30～15:30 5名 1月22日(木)13:30～15:00 6名

2月26日(木)13:30～15:30 6名 3月26日(木)13:30～15:30 5名

議事 各部署報告及び検討事項 運営方針・活動に係る検討、事業運営確認 その他研修等
虐待防止・権利擁護委員会及び身体拘束適性化委員会も同時に実施している。

⑤ 各事業会議

1)ヘルパーステーション コラージュ会議

管理者 サービス提供責任者 常勤職員

議題 事業内容 連絡事項 不適切ケアについて 個別カンファレス(策定会議)等

4月8日 5月23日 6月10日 7月8日 8月12日 9月9日 10月7日
11月11日 12月9日 1月12日 2月10日 3月6日 計 12回

2)就労会議

所長 管理者 支援スタッフ

議題 事業内容 作業内容 不適切ケアについて 個別カンファレス等

4月9日 5月14日 6月11日 7月9日 8月23日 9月10日 10月8日
11月12日 12月10日 1月24日 2月18日 3月11日 計 12回

3)デイサービス会議

デイサービス 共生型生活介護(スタッフ)

議題 事業内容 不適切ケア 個別カンファレス(策定会議)等

4月9日 5月14日 6月11日 7月9日 8月13日 9月5日 10月8日
11月12日 12月10日 1月14日 2月18日 3月23日 計 12回

4)相談事業会議

相談支援専門員

議題 事業運営 情報交換 事例検討その他随時引継等を行う。

4月7日 4月22日 5月12日 5月26日 6月9日 6月24日
7月8日 7月21日 8月13日 9月22日 10月14日 10月27日
11月13日 11月26日 12月8日 12月22日 1月19日 1月26日
2月9日 2月23日 3月10日 計 21回

TSねっとW

4月2日 4月16日 5月 日 5月21日 6月4日 6月18日 7月2日
7月16日 8月6日 8月20日 9月3日 9月17日 10月1日 10月15日
11月13日 11月26日 12月10日 12月24日 1月7日 1月21日 2月4日
2月17日 3月4日 3月18日 計 24回

TS ネット 全体会議 毎月実施 概ね第4水曜日に開催

5)グループホームほわいと会議

管理者 サービス管理責任者 世話人(生活支援員)

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、

利用者個別カンファレス等(計画等策定前会議含)

4月11日 6月20日 8月8日 10月10日 12月12日 2月13日

6)グループホームおれんじ会議

管理者 サービス管理責任者 世話人(生活支援員)

議事 グループホームほわいとにおける設備、備品等に関する事。業務に関する事。行事、利用者個別カンファレス等(計画等策定前会議含)

4月14日 5月12日 6月9日 7月14日 8月18日 9月8日 10月6日
11月10日 12月15日 1月19日 2月9日 3月9日

(2) 研修に関する事

① 外部依頼(講師派遣)

KOBE ピアサポーター養成研修のシンポジスト(実践事例について)にて神戸市保健センターより養成があり川田相談支援専門員が出席して報告等を行った。(各2回実施)

兵庫県より相談支援専門員、初任者研修及び現任者研修のファシリテーターの一人としての依頼があり、川田が受けている。

兵庫県ピアサポート研修のファシリテーターとして依頼があり、基礎及 専門研修 フォローアップに参加している。

神戸市及び基幹相談センター主催の相談支援事業所研修及び神戸市相談支援事業のファーストレベル研修に依頼がありファシリテーターとして参加している。

② 職員全体研修

第1回 職員研修 令和7年5月24日(土) 10:00~11:00

10:00~11:00 BCP研修 法人のBCP(事業継続計画)について説明をして意見交換を行った。

11:00~12:00 安全運転研修 講師 シールド 平井氏

13:30~15:30 市民救命士講習



第2回職員研修 令和7年11月7日(土)

10:00～12:00 コミュニケーション研修 産業カウンセラー 山口明子先生

13:00～16:00 事例検討 各事業所より 事例提出 スーパーバイズ 相談支援専門員が担当



第3回職員研修 令和8年3月14日(土)

9:00～10:00 感染予防研修

10:00～12:00 BCP(防災)研修 クロスロード体験

14:30～16:30 人権擁護・虐待防止研修 明石市社会福祉協議会 橘田氏



③ ヘルパー研修 ※コラージュ報告参照

④ 外部研修

- ・障害福祉施設新任職員研修 (市民福祉大学) 信川 小林
- ・チーム活性化と指導力向上研修(市民福祉大学) 小松
- ・相談支援強化研修(兵庫県相談支援ネットワーク) 川田
- ・事業所交流会研修(障問連) 浅井 延命
- ・発達障害体験講座(NPO 法人そらしど) 山本
- ・防災リーダー研修(135E ネット) 中濱
- ・KOBEOrganic推進部会(神戸市) 田中

(3) 広報に関する事

ホームページ

川畑氏との契約を継続し、ホームページの管理をしていただいた。

各事業所からの報告を毎月更新している。

法人広報誌の発行 年2回

7月号 総会報告

10月号 デイサービス(ARTSHIP) グループホームおれんじより
コラージュより 就労より

デイサービス広報誌発行

毎月発行 月の予定 行事等の報告など

(4) ネットワークに関する事

1) KOBE WEST NET (西区自立支援協議会)

各種ネットワークに参加している。(担当者制にて実施している)

まなぶ部会 (川田) が参加 ※まなぶ部会部会長

就労ネットワークではにしにこショップに参加。また事業所紹介フェアにも参加している。

2) 明石障がい者地域生活ケアネットワーク(135Eネット)

理事(川田) ARTSHIP明石 防災 西明石ブロック担当

まるごと福祉フェア (就労 デイサービス)

防災リーダー研修 田中 中濱

ARTSHIP 明石 2025 (デイサービス 就労(個人))

3) 明石市自立支援協議会

各部会等で行われる連絡会等に参加。主に相談支援事業所の事例検討会、連絡会、交流会等に参加している。

4) 障害者問題を考える兵庫県連絡会(理事長 副理事長が個人会員で参加)

事業所職員交流会は今年度も3度開催された。川田は企画者としても参加している。

5) 枝吉自治会 今津自治会

地域支援事業所ぱれっと グループホームほわいととの所在地域の自治会に加盟している。枝吉自治会では賛助役員として役員会等で活動をしている。安全パトロールにも職員有志で参加している。

今年度は、秋祭りなどにも参加している。

(5) 地域とのつながり

ふれあいフェスタの開催 令和7年10月26日

今年度も、飲食を含めてのイベントを開催した。

名物の豚の丸焼きを始め、唐揚げなどの食べ物の他ゲームも実施し、近隣の家族連れの皆様もたくさんお越しいただけた。また、ボランティアさんにも応援いただき、手品や紙芝居などのステージの他、豚の丸焼きや食品の販売などにもご協力いただいた。



豚の丸焼き



会場風景

4 管理部門

(1) 労務管理

変形労働時間の継続を行っている。働き方への多様な希望も出ているため、短時間正社員制度の導入などを見据えて就業規則の見直しなどを実施し、4月からはハラスメントなども記載した就業規則に変更している。

(2) 職能評価の実施

特定処遇改善手当に対しての職能評価を働く上での目標作成や定期的な振り返りを行うため D-cup シートを中心として行うこととした。それぞれに1月～3月面接を行い職能評価を行っている。

(3) 車両

- ・公用車、通勤車の管理について車両担当者を配置し取り組んでいる。昨年同様に担当者が車両に関する知識も高く、車両の把握、車検等の段取りなどもしっかり出来ている。また修理等への対応力から、経費の削減にもつながっている。
- ・安全運転研修を行っている。車両保険からみれば、今年度保険を使用する事故などがなかったため保険料の軽減にもつながっていたが、今年度は事故(車両単独)での修理で保険を使用することがあり。高

額化が見込まれている。

- ・安全運転管理者からは安全協会からの広報誌等の回覧の実施が継続されている。
- ・整備管理者を軸として車両の管理を行い、タイヤの交換を始め経費削減の対応まで出来ている。日常点検においては、担当車両の洗車や点検は進んでいないので、今後はより日常確認をしていくことが必要。特に車両の清掃がほぼできていない。改善が必要。
- ・車両の入れかえがあった。今年度もやまぶき財団の助成により購入することが出来た。
- ・有償運送の報告は担当者が実施している。次年度は運慶協議会等更新になる。

(4) 防災

1) 点検

業者による点検が、グループホームほわいと及び、おれんじにて年2回実施している。森工務店ビル
のぱれっとの事業所では1回実施している。

2) 防災訓練

就労 デイサービス

令和7年7月9日 避難訓練実施 水防訓練含

令和7年11月25日 避難訓練実施

ほわいと おれんじ

令和7年7月9日 避難訓練実施

令和7年11月25日 避難訓練実施

(4) 組織体制(3月31日現在)

1) 役員 理事 10 名 監事 1 名 計 11 名

2) 職員 正規職員 12 名 契約職員 2 名 非常勤職員 27 名 計 47 名

20 周年記念パーティー風景

